

団体名	鈴鹿大学						
事業名	多文化地域交流フェスタ						
実施期間	2019年7月20日～11月2日						
場 所	鈴鹿大学、鈴鹿市男女共同参画センター、鈴鹿市牧田コミュニティーセンター						
参加者数	外国人留学生	その他外国人	日本人学生	地域住民	スタッフ 大学関係者	その他 (来場者等)	合計
	114	33	21	30	41	100	339名

### <実施内容>

留学生をはじめとした外国人学生と地域の方々が、さまざまな背景をもつ個人として、おたがいを理解し、自分のことを伝えあう双方向の交流を行うためのイベントを企画して実施しました。

コトバ・わたし・未来ワークショップは、交流の体験と、つながっていくきっかけづくりをめざしたものです。第1回ワークショップ(7月20日)、第3回ワークショップ(12月7日)では、大学生がファシリテーター、司会など運営スタッフを務め、自身のライフストーリー動画を作成・発表し、来場の参加者と話しあいました。第2回ワークショップは、地域と学生のマッチング事業団体より、キャリアコンサルタントをファシリテーターとして招き、多文化共生社会での仕事観、人間観をみつめなおす活動に始まり、今この地域での課題を解決する道を、多種多様な参加者が模索するワークショップを実施しました。

10月17日には、第22回 外国人日本語スピーチコンテスト学内大会を開催し、本選に進む鈴鹿大学留学生の代表を決定しました。10月27日の第22回 外国人日本語スピーチコンテスト本選では、三重県下の大学、日本語学校に在籍する留学生、実習生、社会人11名がそれぞれの思いのこもったスピーチを発表し、スピーチ後の質問コーナーで観客からの質問に答えました。

11月2日には、第5回 外国につながる人の母語・継承語スピーチ発表会を開催しました。外国につながる人たちが、日本語ではない母語・継承語で、これまでに体験したこと、今の思い、これから進んでいく道について発表したスピーチを聞きました。今年から日本語母語話者による日本語のスピーチ発表コーナーが設けられました。また、昨年のスピーチ発表者が、子どもに対する母語教育の話ゲストスピーチで披露してくれました。

### <記録写真>



外国人日本語スピーチコンテスト



外国につながる人の  
母語・継承語スピーチ発表会



コトバ・わたし・未来ワークショップ

### <参加者からのコメント>

チャン ディントウオンさん(ベトナム)/Tran Dinh Thuong

私は、何事も体験して学ぶ努力をしなければ自然にできるものではないと思います、今回のスピーチコンテストに出場しました。多くの人前で自分が自己表現できるかどうか知りたい、直すべきところを見つけたいと思いました。実際、人前では緊張して、暗記したものがパッと出てこない時もありました。時間としては約5分と短いものでしたが、私の人生における素晴らしい経験でした。そこで自分の欠点が見つかっただけでなく、他の出場者からも様々なことを学び、新しい友達もできました。スピーチコンテストに携わったすべての方々に感謝します。

ブサル クリшна プラサドさん(ネパール)/Bhusal Krishna Prasad

コトバ・わたし・未来ワークショップ第2回と第3回に参加しました。初めて会った人々も仲良くしてグループディスカッションを行い、互いにコミュニケーションを取り、皆の意見をまとめて発表者を決めて発表すれば、全員の前で自信を持って話すことができました。このプログラムでは、1人ではできなかったことも多くの人と協働し、議論することで問題を解決することができることを学びました。そして、日本の方や先輩たちに様々なことをたずねることができるので、コミュニケーションができない学生、または将来何をすべきか分からずに悩んでいる学生に非常に役に立つと感じています。参加の機会を与えてくれた関係者のみなさまに感謝します。興味がある学生には、これからぜひ参加するようにアピールするつもりです。